

建材 マンズリー

No.670

8

AUGUST
2021

特集

「ウッドショック」と これからの木材調達

ここでちょっと一息 Coffee Break

未来の宇宙を想い、
30年後の環境を守り、明日の災害を防ぐ

注目企業を訪ねる

セイシヨク株式会社



「ウッドショック」とこれからの木材調達

住宅業界を騒がせた「ウッドショック」。

米国での住宅需要の伸びや中国経済の回復、欧州での原木伐採の減少などが重なり、輸入材価格がかつてない水準まで高騰したことは記憶に新しい。

これに伴い国産材への注目度が高まっている。

しかし、価格や強度面で外材に頼らざるを得ない一面もあり、国産材へシフトするには課題も少なくない。

そこで今回の状況を踏まえながら、

日本の木材調達に関する現状と課題を整理し、これからの安定的な木材調達について対策を考えていく。



図1. 柱材の価格 (105×105×3000mm)

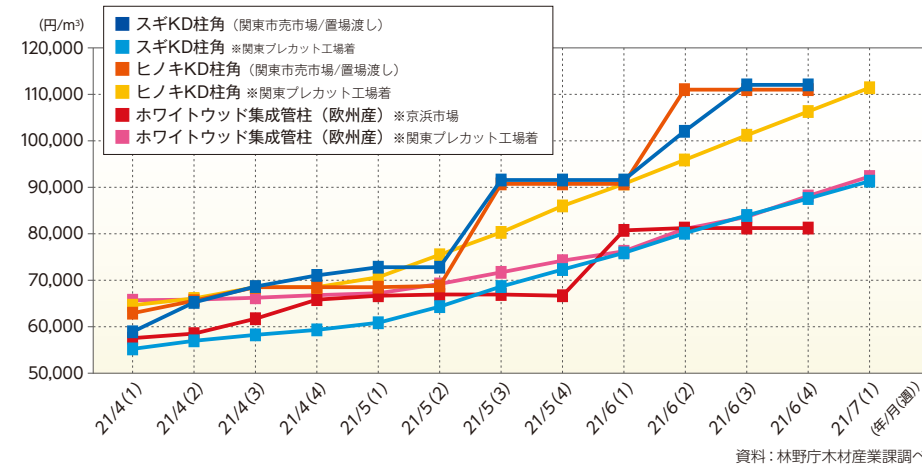
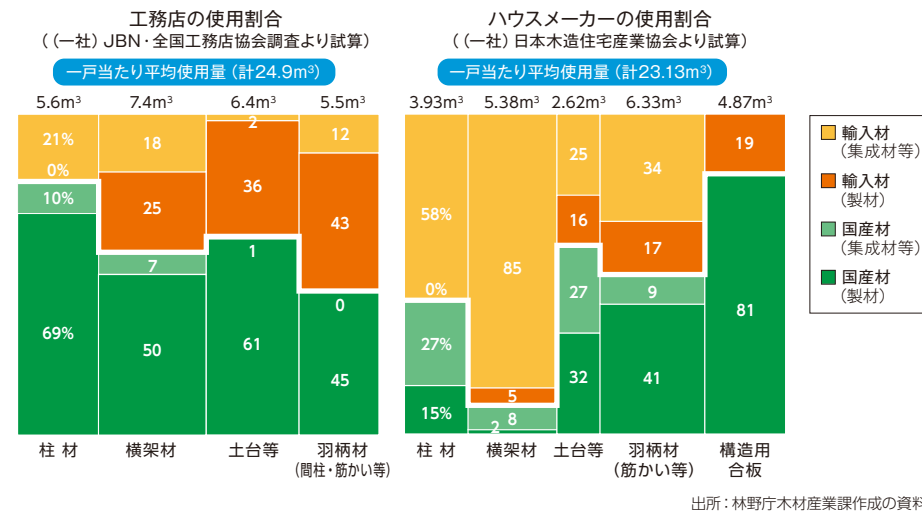


図2. 木造住宅一戸当たりの部材別木材使用割合



材自給率はほぼ100%でした。それが木材輸入の全面自由化により18・8%まで減少しましたが、そこから再び少しずつ上昇し、2019年には37・8%まで戻ってきています。伐る木があることで国産材の利用価値も高まってきたとの認識もありますが、さらなる国産材の活用を促進していきたいと考えています。

木材輸入の全面自由化以前は、梁も柱もスギやヒノキ(一部はマツ)が使われており、工夫次第で梁や桁などの横架材にもスギが使用できることを示しています。スギは柔らかい樹種でたわみ特性がありますが、柱に使う分には問題なく、また梁や桁などの横架材でも大スパンでなければ十分に対応が可能です。地域に

よっては、100%国産材を活用した家づくりを行う工務店も少なくありません。

製材・集成材工場の大規模化や端材、未利用材の活用を

2021年6月15日、5年ごとに見直される「森林・林業基本計画」が閣議決定されました。そこでは国産化を進めるにあたり中長期的なスパンで考え、2030年の建築用材等の利用目標を2600万立方メートルとし、総需要量に占める国産材の割合を6割強まで増やすこととしています。そのためには、輸入材にも対抗できる国産材製品の安定供給体制を構築することで、国際競争力を向上させることが不可欠です。

近年のプレカットの普及により、プレカット工場では高い加工精度が求められるようになってきました。そのため構造用材工場に対し、安定品質が強く求められ、特に含水率は20%以下に抑えることが不可欠です。工場が大規模化すれば、乾燥・加工の工程でどうしても悪くなる歩留まりをカバーし、スケールメリットを出すことで生産効率を上げることが可能となるでしょう。

シフトしたいとの声が強くなりまし。これを受けて国産材メーカーは、体制を整えて工場を稼働させていますが、本来のキャパ以上の受注が来ても、機械の加工能力や労働力が不足するため短期間に増産はできません。

加えて、昨年から続く新型コロナウイルスの影響で、国産材メーカーは生産を抑え、製品および丸太の在庫も減らしてきました。こうした中で、にわかに増加した輸入材の代替需要に 대응するための対応がしきれていないのが現状です。

こうした背景もあり、今回最も影響を受けるのが、プレカットの受注制限の影響を受けやすい小規模工務店ではないかと考えています。一部で受注キャンセルなどの影響が生じていると認識しています。

国産材の活用をさらに加速

日本では今、戦後から進めてきた植林により植えられた木を伐採する時期にきています。かつて日本の木

たがって、国内の構造用材を生産する工場は設備投資を行い、引き続き大規模化を進めることが必要とされています。

また、構造用材などを取った後の端材や、小径木などの未利用材の活用も進めていかなければなりません。海外では構造用材を製材した後の端材を構造用パネルや構造用パーティクルボードに加工し、耐力壁として使用している例が少なくありません。しかし日本では、耐力壁には多くの場合、構造用合板が使われており、海外のような収益性の高い端材の有効な使い道がありませんでした。ここに国際競争力の差が生まれます。そこで日本でも、FIT制度を活用してバイオマス発電の大規模化を進め、燃料用チップに加工することでそうした端材の有効活用を進めています。

また、中小の工場などは、羽柄材や造作材など多様な木材加工製品を供給することで競争力を身に付けていただきたいと思います。日本の木材産業の競争力を高めてゆくと、長い目で将来を見据えて、一緒に取り組んでいただきたいと思います。

キャパシティと労働力の不足で国産材の需要に応えられていない



林野庁 林政部 木材産業課長 齋藤 健一氏

齋藤 健一氏

ピンチはチャンスに変えられる 国産材のさらなる活用へ

——中国木材株式会社(広島県呉市)

米国から日本へ輸入されているベイマツ原木の総量の約79%^{*1}を製材・加工している中国木材では、今回の「ウッドショック」をどのように捉えているのか。全国に先駆けて国産材活用を推進する同社堀川社長に、新たな取り組みなど今後の木材調達戦略について伺った。

かつてない勢いで 米材価格が値上がりした

——日本では今年3月くらいから表面化した「ウッドショック」の現状は？
堀川 まず米国で木材が高騰して、それがヨーロッパに飛び火しました。木材自給率が37・8%^{*2}と輸入材に大きく依存している日本では、今も混乱状態が続いております。今朝の社内会議でも「木材の値段^{*3}が10万円超えの6桁の時代になるのでは」といった話が出ましたが、ここに至って現実になりつつあります。

米材の価格は、今のところ当社の売値で昨年同期に比べ約2倍近くの値上がりとなりつつあります。原木も値段は高くなっていますが、米国最大手の一社から直接仕入れているので、価格さえ折り合えば供給に問

「価です」という珍・迷回答も聞かれます(笑)。

一方、欧州材は3カ月単位の先決めが多いのですが、直近に決めた先決めの価格が大きく値上がりしており、日本に到着する秋以降が値段のピークになるだろうと予想しています。

——住宅価格の値上がりなど、影響はあるのでしょうか。

堀川 住宅1棟の中で木材価格が占める割合は5〜10%なので、木材価格が高騰したからといって住宅価格が1・5倍に跳ね上がることは起こらないと思います。ただし鉄など他の資材も高騰しているため、複合的な要因で住宅価格が上がる可能性があります。

それよりも、こうしたウッドショックという状況で、住宅市場の冷え込み



宮崎県日向市の国産材工場

題はありません。ただ北米大陸の北西部では6月来、記録的な熱波が襲

来しており、オレゴン州、ワシントン州、カナダのB・C・州などは40℃を超える気温が続いています。そのため入山規制がかかり、出材が減少することが、今一番の懸念材料です。

——何が原因で木材需給の逼迫が起こったのでしょうか。

堀川 予想していなかったことが次々と重なって起こったということです。需要面では、まずはアメリカではコロナ禍で在宅勤務の増加による郊外の戸建て住宅需要の高まり、ペビーブーマーの孫世代による住宅建築のタイミングの到来、住宅ローンの低金利といった要因が重なり住宅需要が高まっていると思います。これらの要因による住宅需要増によ

や消費者の木材離れが進むことが心配です。そうならないためにも、当社では安定供給を第一に努めていきます。輸入材の供給が減少している現在の状況は、国産材を使ってもらうというチャンスでもあり、国産材の生産をさらに増やして、この異常な価格を早く鎮めるよう動きたいと思っています。

国産材供給を拡大する チャンスが到来

——これから国産材に力を入れていくのですか。

堀川 ウッドショック以前より、当社は国産材に注力してきました。ベイマツが主力であることには変わりはないですが、現在のベイマツと国産材の2対1の比率をなるべく早く1対1に引き上げたいと思っています。

輸入材は世界の木材市況により価格が激しく動き、燃料費の変動も含めて船運賃も大きく上下します。さらに為替変動もありますし、原木輸出禁止などの可能性も否定できません。国産材はそのような外的影響を受けないので、安定供給が可能です。

当社では2014年に宮崎県日向市に大規模な国産材工場を造り、山から出材されるあらゆる原木をすべ

り、アメリカにおけるツーバイフォー市場が活況になりました。また、コロナ禍による巣ごもり需要の増加でDIYが盛んになり、木材需要が増えたことも原因として挙げられます。

供給面ではコロナの影響で労働者が工場に出られなくなり、供給量が減ったことが挙げられます。しかし、今回のウッドショックの主要因といわれているのがカナダの木材の供給力の低下です。温暖化が進むことで松くい虫が越冬するようになり、虫害が深刻化しています。ヨーロッパも同じく虫害と暴風雨による倒木で森林がダメージを受けています。さらにコンテナ不足や港湾労働者の人手不足なども加わって、様々な事象がダブル、トリプルで発生し、ウッドショックが起こったのではないかと思います。

——この傾向は今後も続きますか。

堀川 米国製材市場の価格はすでに5月のピーク時^{*4}から大きく下落しました。シカゴ商品市場に上場している木材相場には投機マネーが入っており、先物価格が乱降下しましたが、今は一時よりは沈静化しています。ただ実需としては供給がタイトであることに変わりはなく、少なくとも

て1カ所を集めて自社で選別し、製材、乾燥加工、集成材、バイオマス発電など、国産材を余すところなく活用した一貫生産システムを稼働させています。この「日向モデル」を全国で展開するため、秋田県能代市に新たな国産材製材工場の建設を進めており、2024年の本格稼働を目指しています。

——輸入材の価格高騰はチャンスに変えられますか。

堀川 杉は強度が弱く構造材の梁としてあまり使われていないことから、当社では集成材の外層部に強度のあるベイマツを使用し、内層部には軽くて粘りのある国産杉を使った、異樹種集成材の「ハイブリッド・ビーム」を開発、製造しています。JAS認定品であり、これをしっかりと供給していきたいと思っています。

杉は腐りにくさと耐久性の面で優れており、柱には適しています。ウッドショックで「柱がないから家が建てられない」ということが実際に起こっているの、樹種を見直す絶好のタイミングだと思っています。実際、樹種変更をお願いして杉の集成柱を使っていたところ、施工の評判がと

とも年内は続くのではないかと見えています。また、現地では山火事のシーズンに入っており、入山制限が取られることで、原木価格が値上がりし、製品も再び上がる可能性は十分あると思っています。

遅れてやってきた 国産材、ヨーロッパ材の高騰

——国産材やヨーロッパ材の動きはどうだったのでしょうか。

堀川 今年の3月、当社の製品売り上げが異常に伸びました。これはちよつとおかしいと4月から受注制限をかけましたが、そういう状況が起きているにもかかわらず、国産材の製材品価格の相場も量もまったく動かなかったことに違和感を覚えました。それが今では国産材は米材の値上がり幅を超える勢いで上がっています。国産材の市場は情報の伝達と価格への転嫁が遅いのではと強く感じました。国産材市場はもともと規模が小さいので、需要が殺到すると値上がりも大きくなり、注文すると「値段は時



中国木材株式会社
代表取締役社長
堀川 智子氏



ベイマツと国産杉を使った異樹種集成材「ハイブリッド・ビーム」

でもよかったですという報告も聞きました。また、強度面の性能に問題はないが、木目やスイ^{*5}、表面割れ等の見た目の理由で返品されていた材が今は受け入れられています。需要家の皆様には、性能に問題のない材については、今後受け入れ基準の緩和もお願いしたいと思っています。

私は、価値観を変える何かが起きた時が方向転換のチャンスだと考えています。今回のウッドショックもチャンスと捉え、国産材のさらなる活用を進めていきます。世界各地で異常気象が発生しており、それを緩和するためにカーボンニュートラルが注目される今、これを機に国内の林業を活性化しなければいけません。今回のピンチはチャンスに変えられると思っています。

(本記事は2021年7月6日取材時の状況で記載しています)

*5 スイ：木材の中心のごく細い軟らかい部分

*1 2018年実績(同社HPより)
*2 2019年実績(2020年9月林野庁発表数字より)
*3 1㎡当たりの価格
*4 シカゴ取引所の木材先物価格、2021年5月7日には1000ボードフィート(約2.36㎡)当たり1,686ドルの終値を付けた

「ウッドショック」とこれからの木材調達

国産材の安定供給に向けて

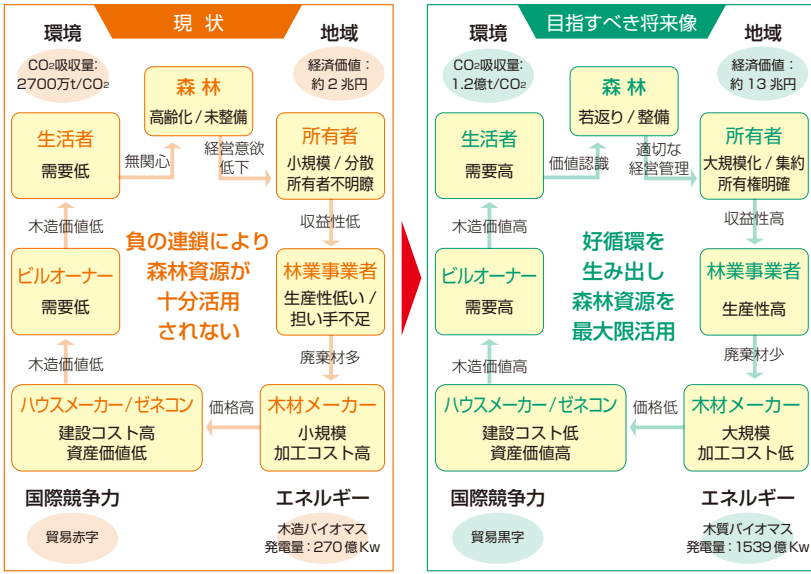
— 住友林業の取り組み

世界的な木材価格の上昇は、日本の木材業界に混乱をもたらした。住友林業では、資材調達が困難な環境下ではあるが安定供給を図ると共に、国産材の供給を促し、国内の製材事業や加工業の体制整備の追い風となるよう力を尽くす。

世界的に見た日本の木材調達の課題

様々な要因が重なり発生した「ウッドショック」。欧米では価格高騰の

図. サーキュラー・バイオエコノミーの取組み



影響を受けたものの、各国の自給率が低いと、さほど影響は大きくありませんでした。一方、輸入材に6割以上を依存する日本では大きな影響を受けました。なぜならば世界的な木材需要の高まりに対し日本の購買力が低下したことが要因です。

1964年の木材貿易完全自由化以降、日本は世界中から木材を輸入してきました。高度経済成長以降は、旺盛な購買力を持っていた日本は、品質要求は厳しいものの、価格も魅力的な市場でした。しかし市場の縮小均衡に伴い輸入量はピーク時の9045万m³(1996年)から5091万m³(2019年)まで減少し、仕入れの競争力も低下しました。日本の輸入の現状は、品質と価格が折り合わないまま国際的な木材市場でのプレゼンスを低下させています。

国産材安定供給のための基盤拡大を進める

そこで当社では、従来の輸入材の取り扱い強化に加えて、国産材の自給率を引き上げるためにさらなる国産材のサプライチェーンを構築し、安定供給と基盤拡大に努めていきます。

① 原木の安定供給を目指すためにまず、買山事業を強化します。また同時に苗木生産・植林事業を通じて再造林率を向上させ、山元への利益還元ができるスキームを構築します。

住友林業フォレストサービス株式会社では、2021年5月に、福島県、栃木県、茨城県下において民有林地の再造林事業を目的とした組合組織『協同組合ウエル造林』を立ち上げました。地域の有力伐採業者と共に再造林面積拡大を目指し、今後は他地域でも展開していく予定です。

② 原木から製品、バイオマス燃料や製紙原料のチップなど、国産材をグレードにあつた用途で使い切るカスケード利用を推進します。技術導入による木材の新しい部材開発も含め、森林資源を最大限活用しながら経済的に自立した森林経営、サーキュラー・バイオエコノミーを実現していきます(図)。

③ FIT制度など国のエネルギー政策を見据え、バイオマス発電などの再生エネルギーを推進していきます。

これら国産材自給率を高める事業活動を行うとともに、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを当社は推進しています。川上の森林経営や川中のバイオマス燃料や木材・建材の製造流通や川下の木造建築や発電などの事業を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

米国ではリモートワークによる郊

外での戸建需要の増加や中古流通在庫の減少、史上最低水準まで低下した住宅ローン金利などが後押しとなつて住宅市場が好調に推移しています。またいち早くコロナ禍から経済回復を果たした中国では、土木・建築用の木材需要の急増により強大な購買力も戻ってきました。市場では品質、数量などで日本よりも有利な条件で買付けられる国々に木材が集まっています。



Coffee Break

Vol. 80

住宅業界の旬な話題をお届けします!

住生活ジャーナリスト 藤井 繁子

『月刊 HOUSING』編集長・リクルート住まい研究所主任研究員などを経てフリージャーナリストに。マンション購入・戸建建築・リフォームと自邸で実践しながら、国内外で取材・コンサルティング活動を行う。



未来の宇宙を想い、30年後の環境を守り、明日の災害を防ぐ

地球のタイムリミットと宇宙開発

コロナだけでなく、自然災害が世界を襲い地球の悲鳴が聞こえるようです。そんな地球を脱出とばかりに、宇宙旅行を実現した富豪たちの達成感に満ちた映像は、宇宙不動産の争奪戦をリアルに予感させるニュースでもありました。

宇宙ビジネスで後れを取るまいと、日本にも動きが見られます。民間企業などと協働で新事業を創出するプログラム「JAXA宇宙イノベーションパートナーシップ (J-SPARC)」に、これに三井不動産が参加し、宇宙ビジネス活性化促進プロジェクト「X-NIHONBASHI (クロス・ニホンバシ)」を本格稼働させたと今年2月に発表。

【宇宙ビジネス拠点「X-NIHONBASHI」のホームページ】



三井不動産は日本橋三井タワー内に「X-NIHONBASHI TOWER」を新設(2020年12月)。「月惑星に社会を作るための勉強会」など、興味をそそる

イベントを展開。民間開発月着陸・探査ミッションを推進するispace社のコントロールセンターも設置されている

温暖化対策、地球の環境を守るためにも、宇宙開発は不可欠なシナリオになってきています。

循環型社会を実現し災害リスクを下げる

6月末に発表された令和3年版国土交通白書のタイトルは、「危機を乗り越え豊かな未来へ」。危機の一つに示されたのは、「災害リスクエリアは国土の21.5%、そこに全人口の67.7%が集中居住」しているという事実。激甚化・頻発化する豪雨災害へのインフラ対策とともに、地球温暖化対策は2050年カーボンニュートラルへ向け喫緊の課題です。住宅分野ではLCCM(ライフ・サイクル・カーボン・マイナス)住宅の促進、EV車の普及により相乗効果も期待できます。

大東建託は日本で初めてLCCMの基準を満たす賃貸集合住宅を2×4工法で開発し、6月末に完成させました。2×4材の製材時における乾燥に再生可能エネルギーを利用することで、建物製造時のCO₂排出量を削減。また、「LCCM賃貸集合住宅」で創出された再生可能エネルギーは、電力会社を介して自社の建築現場に供給し、企業としてRE100達成につなげる循環を計画しています。

【日本初「LCCM賃貸集合住宅」が完成@埼玉県草加市】



大東建託が県立広島大学生物資源科学部小林謙介准教授と共同研究。片流れ屋根に京セラの太陽光発電システム32.40kwを搭載。商品名「LUTAN」/2階建

6世帯/敷地面積446.21㎡/延床面積348.56㎡

ゼネコン木造ビル技術の“競演”

脱炭素化の一翼を担う木造建築。東京ではゼネコン各社による高層ビル計画が続々とお目見えしています。

竹中工務店は自社開発の耐火集成材『燃エンウッド』で、12階建を10月竣工予定(銀座)です。三井不動産と計画中の賃貸オフィスビル(日本橋)は、木造高層建築物として国内最大・最高層となる予定(想定規模:地上17階建、高さ約70m、延床面積約26,000㎡。2025年竣工予定)。

大林組では、柱・梁・床・壁などの地上の主要構造部をすべて木材とした、日本初の高層純木造耐火建築物「OYプロジェクト」(横浜市関内)を22年3月竣工予定で進めています。自社開発の耐火木造技術『オメガウッド』を構造部材とし、1階柱は日本初となる3時間耐火仕様です。

清水建設は第一生命保険の京橋プロジェクトに着手。木材と鉄骨、コンクリートを組み合わせるハイブリッド技術『シミズ ハイウッド』を採用した賃貸オフィスビル(想定規模:地上12階・地下2階建、高さ約56m、延床面積約16,000㎡)の、2025年以降の竣工を目指します。

鹿島建設が住友林業を含む4社共同で大臣認定を取得したのは純木質耐火集成材『FRウッド』。これを採用した木造ハイブリッド構造8階建ビル「ジューテック新本社ビル(新橋)」を7月に着工しました。

【ジューテック新本社ビル完成予想図】



旧『ベニア商会』として合板販売を開始したジューテックの新本社が、創業100周年を迎える2023年に完成予定。地上8階・地下1階建、延床面積:4,878㎡

住友林業が掲げる“街を森にかえる環境木化都市”、森林と都市の循環型社会を実現し、少しでも災害リスクを減らしたいものです。東京オリンピック後は、未来への希望が持てる世界観になっていきますよう!

注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

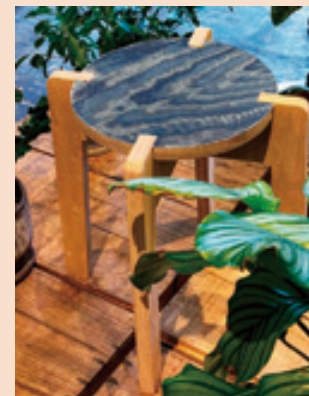
「しかし、価格が高くなかなか市場に受け入れられませんでした。そこで、もっと薄くする方向にかじを切りました。木工家具工場など協力会社の力を借り、スライスの技術を試行錯誤し、0.45mmまでの薄さを実現。光を通すほど薄い「SKIN」が誕生しました。コストが下がり、曲面に施工も可能で、ほつれがなく、無縫製での加工もできます。抜き型裁断、刻印、印刷にも対応し、活用の幅が一気に広がりました」

—— 現在、インテリアや家具、プロダクトなど多彩な分野で用いられることで認知拡

NUNOUS SKIN プロダクト例



NUNOUS SKIN 採用例



椅子 (NUNOUS SKIN (デニム))



LUCID SQUARE SEMBA (オフィスビル、壁面装飾)

「積層」「固める」「スライス」の発想で 廃棄される規格外の布に新たな生命を吹き込む 老舗の染色加工会社



取締役社長

姫井 明氏

本社 ● 岡山県倉敷市茶屋町 234
創業 ● 1880年
資本金 ● 9,800万円
従業員 ● 120名
事業内容 ● 染色、晒、各種整理加工

染色業の弱みである環境負荷を
まったく新しい発想で改善

—— 布地を製造する際に大量に生じる規格外品。色彩のブレや製織時の欠陥などがわずかでもあれば廃棄に回されてきた。その量の推定は国内で年間約900万㎡。東京ドーム190個分以上という膨大な量だ。そんな課題を解決すべく、規格外の布を新しい素材に生まれ変わらせるアップサイクルに挑戦しているのが、明治時代から続く老舗の染色加工会社であるセイシヨクだ。

「当社では年間約100万㎡の布を染色加工しているため、規格外品も膨大に出てまいります。繊維業は多くの水やエネルギーを使うため、地球環境に与える影響も大きい。そんな多くの資源を用いて製造された布が廃棄される点に疑問を感じてきました」

「新素材はNUU=新しい、NUNOU=布、US=明日から、『NUNOUS(ニユノス)』と命名し、2018年にリリースしました。切る角度や重ね合わせる布地によって表情は変わり、一つとして同じ断面はありません。オリジナリティーを追求する内装や家具など、建材としても様々な場面で活用できる可能性を秘めていると感じています」

布由来のサステナブル素材を
建材など異分野でも活用

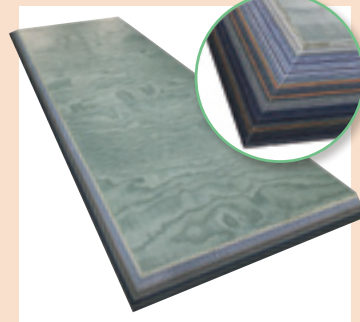
—— NUNOUSには板状の「STONE」と、シート状の「SKIN」の2種がある。最初に完成した「STONE」は展示会などで、デザイン性とサステナビリティ性の高さに多くの支持を集めたという。

NUNOUS SKIN



端がほつれないためフリーカットで製品化が可能。光を透過させ、裏表がない
最大サイズ：450mm×225mm *1
厚さ：0.5/0.68/0.8/1.00mm *3

NUNOUS STONE



水平に切ると抽象画や大理石のような表情、
垂直に切ると地層のような断面が現れる
最大サイズ：450mm×225mm *1
厚さ：4～48mm *2

ここが注目ポイント

規格外の布をアップサイクルし
脱炭素社会に貢献

オリジナリティーのある新素材開発で
繊維業界以外の分野に市場を開拓

「NUNOUS」を通じて
取引先のSDGsを具現化

また、手間暇かけて染めた布を捨てるのは職人にとってもつらく、廃棄コストもばかにならない。ならば、これらを使って何かできないかと考えたことがきっかけでした」

—— 2012年に新規事業開発課を立ち上げ、社員4人で新規事業構想プロジェクトをスタート。廃棄布を粉砕してフェルトに加工するというダウンサイクルは以前から行われてきたが、同じことをしても市場は作れない。新しい価値を持たせ新しい市場で戦えないかと、試行錯誤を繰り返した。

「そんな中で、『砕く』のではなく、『積層』に着眼し、固めて板にするというアイデアに行き着きました。岡山県工業技術センターと連携し、さらに研究と試作を重ねるうち、布にポリマーを含浸させて重ね合わせるという製法を開発(特許取得)。布とは思えない堅牢性と耐水性を実現しました。そして垂直にスライスした時に生じた地層のように美しい断面に、手応えを感じたのです」

—— やらに水平にスライスしてみると、その断面の美しさにも驚く。500枚ほど重ねた布には、『たわみ』が発生し、等高線のように切断面に独特の柄を生み出したのだ。色合いによっては年輪、大理石のように見えるが、布ならではの温かみもある。今までにない素材の誕生だった。

大を目指す。姫井氏自ら全国を回って理念に共感してもらえぬ企業を訪問している。

「今までに見たことがない素材だと好評です。あるレディースクリニックでは、独特な柄が『月』のイメージにピッタリだと壁面パネルに採用していただきました。また、SDGsの取り組みとしてエントランスの壁面装飾や、ノベルティーとして採用されるケースも増えています。お客様に販売先を紹介されることも多く、全国のホテルや商業施設など、サステナブル意識の高い企業に様々な形で活用されています」

—— コラボ商品の開発など業界の垣根を越えてSDGsの具現化を進める同社。今後は同社の技術で自社以外の規格外品も救済し、クライアントの課題解決にも挑む。

「同様に規格外の布に苦慮している同業者やアパレルブランドと連携して、クライアントオリジナルのNUNOUSを製作します。様々なプロダクトに活用してもらおうと脱炭素に向けた取り組みやブランド価値の向上を支援していきます。また、真のサーキュラーエコノミー実現のため、使用済みのNUNOUSをさらに再加工して、新たなNUNOUSを生み出すエンドレスNUNOUSも構想中です。このNUNOUSを未来志向のある企業と協業しながら、魅力あるブランドとして育てていきたいですね」

*1：サイズ公差 450mm+13mm、-0mm×255mm+5mm、-0mm

*2：厚さ公差 ±0.5mm

*3：厚さ公差 ±0.1mm/別の厚みについては要相談

10月に京都で国際イベント「WOODRISE 2021 KYOTO」を開催 — 一般社団法人 国際建築住宅産業協会

中高層木造建築物の発展を目指す国際イベント WOODRISE。世界の業界関係者が一堂に集結するイベントで、2017年のフランス、2019年カナダ開催に続きこの秋、日本の京都で開催される。「WOODRISE 2021 KYOTO」では「持続可能な開発に向けた木の建築 伝統から未来へ」のテーマのもと、木造建築技術の先進各国の取り組みについて広く情報と知見を集め、国内および諸外国の関係団体・企業の交流を深めることを目的としている。

プログラムは全体会議、講演会、ワークショップなどで構成され、現地参加と、オンライン参加が選択できるハイブリッド開催となる。さらに主要なプログラムについては、会期後にも参加者が視聴できるようオンデマンド配信を一定期間行う予定だ。また海外参加者の来日が困難な場合を想定し、一部のプログラムを分離して、2022年に「WOODRISE 2021+1（プラスワン）」としての開催を計画している。

参加の事前登録は、9月14日までホームページ (<http://www.woodrise2021.jp>) で受け付ける。

【開催概要】

- 主催：（一社）国際建築住宅産業協会
- 会期：2021年10月15日（金）～ 18日（月）
- 会場：国立京都国際会館（オンライン参加可）
- 参加登録費：一般80,000円（当日登録は100,000円）、学生10,000円 ※ WOODRISE 2021+1の登録参加費を含む。
- 日程

10月15日（金）	10月16日（土）	10月17日（日）	10月18日（月）
	開会	全体会議III	テクニカルツアー
	導入講演		
	全体会議I		
	ランチ	ランチ	
受付開始	記念講演 （講演：隈研吾氏）	テクニカル ワークショップ	
	全体会議II		
ウェルカム ラウンジ	ガラディナー	閉会	

● 問い合わせ先：

WOODRISE 2021 KYOTO 主催事務局
E-mail: woodrise2021kyoto@jibh.or.jp

良品計画のブランド「IDÉE」の商品開発に協力 木材の端材を活用した「木のカタラーリ」の販売を開始 — 住友林業

住友林業は、良品計画のブランド「IDÉE（イデー）」が手掛ける「POOL」シリーズの「木のカタラーリ」の商品開発に協力した。住友林業のグループ会社であるSRP社*から出る木材の端材を活用し、同社の指導のもと協力工場が製造している。

オリジナルの家具から雑貨までを取りそろえ、「暮らす」という楽しみを提案する「IDÉE」では、2015年から「POOL ためてつなげるものづくり」プロジェクトをスタート。素材を無駄なく使いながらも、ものづくりの過程で発生するハギレや端材、流通の過程で発生するキズ・汚れなどで販売できなくなった商品をためる（POOL）。そして様々な企業・クリエイターとつながりながら、新たな価値のある商品に再生させる取り組みだ。住友林業グループも、かねてから製造工程で出る木材の端材の有効活用を検討しており、このプロジェクトへの参加が実現した。

今回のカタラーリの監修は、ファッションブランド

「ミナ ペルホネン」デザイナーの皆川明氏。SRP社で製造するフローリングなどの北米の木材の端材が、スプーン・フォーク・ナイフに生まれ変わった。樹種は木目が美しいチェリーとウォルナットの2種類で、スタイリッシュなデザインと強度を両立。食器を扱うに当たり厳しい塗装基準をクリアした商品となっている。

商品はIDÉE店舗やオンラインショップで販売している。
*SRP社：インドネシアにある木質内装材製造会社

● オンラインショップ

URL：<https://www.idee-online.com>



チェリー材



ウォルナット材

編集室より

■ 弊社ホームページにPDF版を掲載中です。
<https://sfc.jp/mokuzai/kenzaimonthly/>

■ 送付先の変更、広告掲載・誌面に対するご意見などは以下までご連絡ください。

メールアドレス：kenzai-monthly@sfc.co.jp
FAX：03-3214-3263

住友林業株式会社 木材建材事業本部 業務企画部

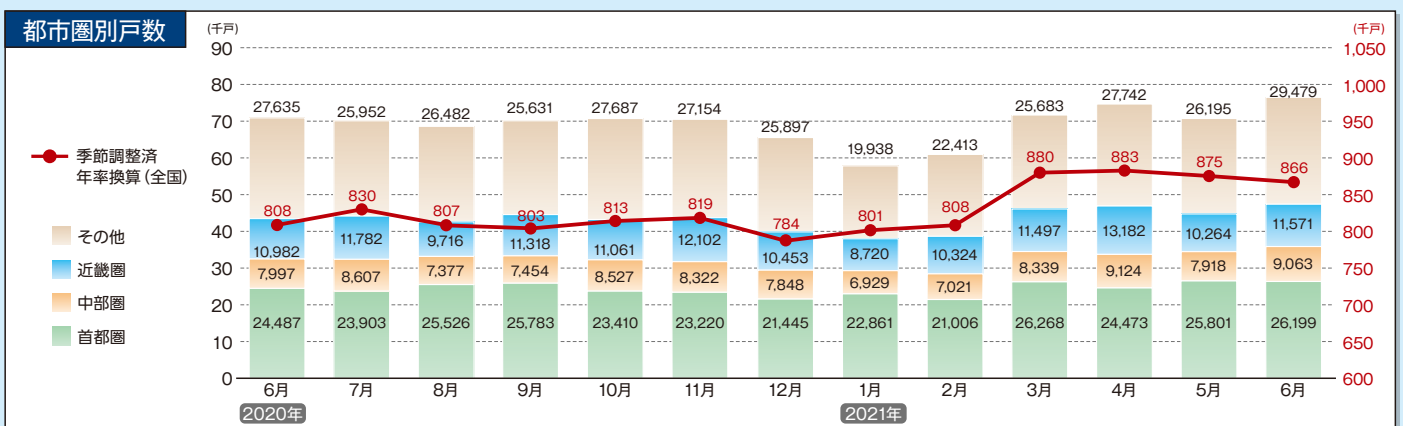
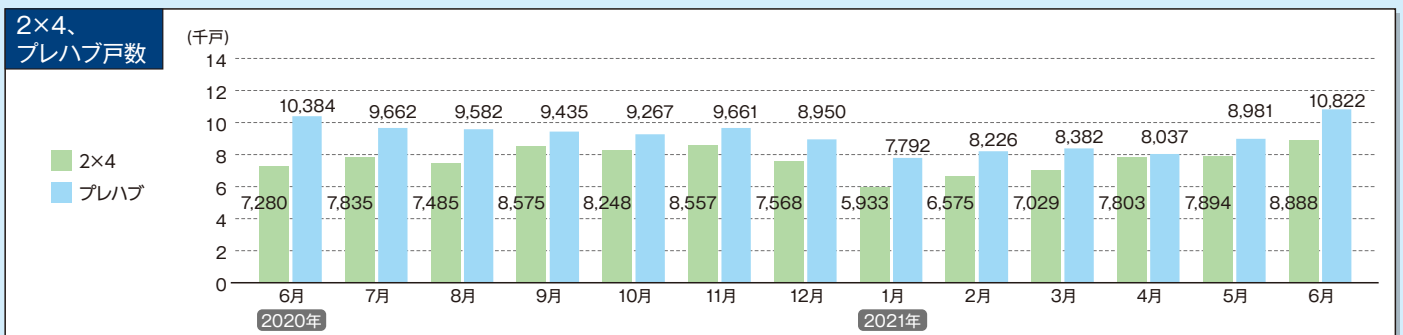
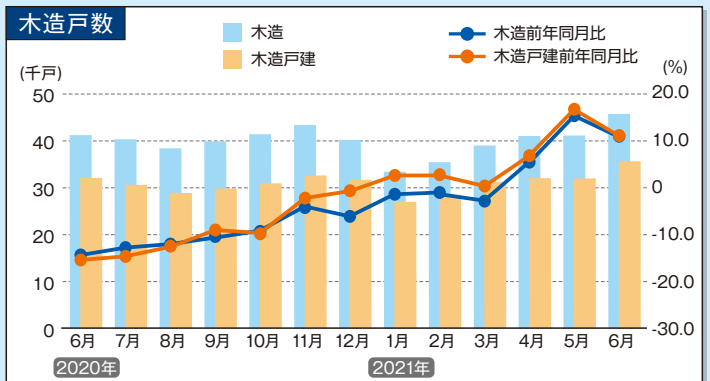
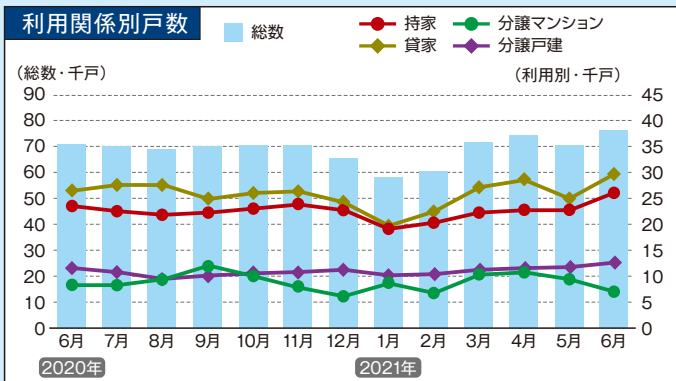
夏真っ盛りですね。今年は東京オリンピックも開催され、選手たちの熱気も加わったのか一層暑く感じます。みなさんの夏の過ごし方といえば、何ですか？私はクーラーの効いた部屋で毛布を掛けアイスを食べる、というのが定番。外の暑い世界に思いを馳せながら、涼しい部屋で心地よい時間を過ごす至福の事です。心地よいと感じるのはストレス度も下げ心身の健康を保つにはいいとのこと。今年もその時間を確保するため、日々熱く仕事に励んでいます。(S)

表紙：住友林業（株）住宅・建築事業本部 城南支店 オークラランド展示場

* 家具などのインテリア品は実際の展示と異なる場合があります

2021年6月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

		6月				5月	4月	3月	
		対前年同月比		対前々年同月比					
新設住宅計		76,312	5,211	7.3%	▲ 5,229	▲ 6.4%	70,178	74,521	71,787
建築主別	公共	380	▲ 658	▲ 63.4%	▲ 199	▲ 34.4%	1,417	1,572	1,440
	民間	75,932	5,869	8.4%	▲ 5,030	▲ 6.2%	68,761	72,949	70,347
利用関係別	持家	26,151	2,501	10.6%	▲ 2,243	▲ 7.9%	22,887	22,877	22,340
	貸家	29,802	3,136	11.8%	▲ 843	▲ 2.8%	25,074	28,825	27,245
	給与住宅	482	▲ 114	▲ 19.1%	▲ 150	▲ 23.7%	791	336	378
	分譲住宅	19,877	▲ 312	▲ 1.5%	▲ 1,993	▲ 9.1%	21,426	22,483	21,824
	うちマンション うち戸建	7,024 12,654	▲ 1,398 996	▲ 16.6% 8.5%	▲ 1,573 ▲ 442	▲ 18.3% ▲ 3.4%	9,444 11,797	10,776 11,595	10,392 11,319
資金別	民間資金	69,812	5,514	8.6%	▲ 3,422	▲ 4.7%	63,215	67,842	65,156
	公的資金	6,500	▲ 303	▲ 4.5%	▲ 1,807	▲ 21.8%	6,963	6,679	6,631
	公営住宅	335	▲ 675	▲ 66.8%	▲ 194	▲ 36.7%	1,007	1,526	1,429
	住宅金融機構融資住宅	3,012	▲ 314	▲ 9.4%	▲ 1,047	▲ 25.8%	2,941	2,642	2,598
	都市再生機構建設住宅	0	0	—	0	—	147	0	0
	その他住宅	3,153	686	27.8%	▲ 566	▲ 15.2%	2,868	2,511	2,604
構造別	木造	45,750	4,532	11.0%	▲ 2,321	▲ 4.8%	41,156	41,056	39,008
	非木造	30,562	679	2.3%	▲ 2,908	▲ 8.7%	29,022	33,465	32,779
	鉄骨鉄筋コンクリート造	654	310	90.1%	547	511.2%	275	403	480
	鉄筋コンクリート造	17,637	▲ 775	▲ 4.2%	▲ 2,007	▲ 10.2%	19,119	23,486	22,808
	鉄骨造	12,187	1,173	10.7%	▲ 1,437	▲ 10.5%	9,539	9,488	9,420
	コンクリートブロック造 その他	42 42	▲ 2 ▲ 27	▲ 4.5% ▲ 39.1%	▲ 1 ▲ 10	▲ 2.3% ▲ 19.2%	43 46	32 56	36 35



(出典：国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html)

抗ウイルス 抗菌の 天然木フローリング ハイジエニック シリーズ発売

HYGIENIC

ハイジエニック仕様とは

HYGIENIC

●天然木であること

●以下の5つの衛生性能を兼ね備えていること

1. 抗ウイルス性能

製品上の特定ウイルスの数を、24時間後に
抗ウイルス処理なしと比較して99%以上減少します。



2. 抗菌性能

製品上の細菌の数を、24時間後に
抗菌処理なしと比較して99%以上減少します。



3. 耐薬品性能

次亜塩素酸ナトリウムやアルコールをご使用いただけます。

4. 耐汚染性能

雑菌繁殖のもととなる汚れをきれいに拭き取れます。

5. 室内空気環境性能

国内最高レベルの室内空気環境性能です。